

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input type="checkbox"/> 有 種類()	<input checked="" type="checkbox"/> 無	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 場所()	<input type="checkbox"/> 現地
必要書類、手続き 手続きに要した期間					
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	当初の予定は三か月以上の留学だったため、現地でイカメットと呼ばれる滞在証明書が必要でしたが、現地の大学の国際課がとても丁寧に対応してくれました。				
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 独語	<input type="checkbox"/> 仏語	<input type="checkbox"/> 中国語	
	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(トルコ語)		
勉強方法	通販でトルコ語の本を買って自分で勉強していました。また日本語字幕でトルコのドラマも観ていました。				
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	健康保険やイカメットの取得、住所の設定、バスの定期券購入など最初はとても手続きが多いですが、ルームシェアしていた現地の友達がすべて手伝ってくれたのでスムーズに手続きを終えることができました。				
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	円	
	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	
	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			
	渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道	<input checked="" type="checkbox"/> 往復)	190,000	円	
	海外旅行保険料	90,000	円		
	<input type="checkbox"/> その他 ()			円	

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	アジアナ航空、アエロフロート航空、トルコ航空	手配	Trip.com ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→韓国(仁川)→イスタンブール	到着時刻	6 : 30 【※移動時間(約 15 時間)】
大学(寮)への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	HAVAIST と書かれたバスに乗って ESENLER OTOGAR に行きます。そのあと PAMUKKALE というバス会社のチャナッカレ行きのバスに乗ります。現金があると便利です。		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他(ルームシェア)	住居手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他(現地の学生)
住居の申込手順	現地の教授におすすめの部屋を聞いて、そこに住む学生とインスタグラムを交換した。		
住居でのトラブル および解決方法	特にありませんでした。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	徒歩またはバス。バスは2リラぐらい(約40円)でした。		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 40,000 円/月 (生活費内訳) 住居費 : 17,000 円 / 光熱費 : 2000 円 / 通学費 : 400 円 食費 : 15,000 円 / 通信費 : 円 / 書籍代 : 円 その他 : () 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの : 円 (徴収された費用の名目 :)		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	口座開設はしませんでした。健康保険は入らないといけならしいのでお金が少しかかります。携帯電話は現地の TÜRK TELEKOM という会社が近くにあったのでそこで SIM カードを購入しました。クレジットカードで支払えるところは多いです。		

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00				語彙			
9:00			高校見学	会話		友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
10:00		教育工学	高校見学		自習		
11:00		教育工学	高校見学		自習		
12:00							
13:00	日本語速読	言語習得	教授法				
14:00	日本語速読	言語習得	教授法	トルコ語	ドラマ観たり、料理したり		
15:00	日本語速読	言語習得	教授法	トルコ語			
16:00				トルコ語			
17:00				トルコ語		料理クラブ	
18:00			折り紙クラブ			料理クラブ	
19:00			折り紙クラブ				
20:00			折り紙クラブ				
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

トルコ語を少しですが話せるようになりました。また、日本語教育という分野に関しては全くの無知でしたが、現地の大学はヨーロッパ最大の日本語教育機関ということもあって、高学年ではすべて日本語で教育について考えたり、自分の考えを発表したりする授業があり、学生のレベルの高さに非常に驚かされました。しかし日本に興味を持っている生徒と持っていない生徒の差が激しく、意欲の程度によって能力の差が生まれているのは少し課題なのかなとも感じました。

トルコでは日本と違ってバイトをする習慣がなく、毎日学校の帰りに友達とお茶を飲んでゆっくりと過ごしていたので、慌てて毎日過ごしていた自分を見直すきっかけになりました。ほかの大学から来た学生や留年した学生など、あまり日本では見られないような人たちと過ごしたことによって時間への価値観が大きく変わりました。また、大学で日本人は私以外いなかったのも、人から注目されることの楽しさを感じることができました。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

寮は安いですが、少し汚くて門限があるなど快適ではないそうです。また、日本を含めアジアから留学してくる学生は非常に少ないので、留学気分を最大に楽しめることができそうですが、日本人の友達を作ることができなかったのは少し残念でした。

プログラムに関してですが、交換留学の場合国際課の方がとても丁寧に対応してくれます。大学で必要な手続きに関して心配することは全くないです。

生活面では日本よりはるかに物価が安いので少しお金持ちの気分で留學生活を楽しめると思います。トルコ料理は少し癖がありますが、慣れてくるととてもおいしいです。お米も現地にあるので、作ろうと思えば日本料理も作ることができますが、豚肉が全くないので少し困るかもしれません。生野菜はお店で出てくるものが多いですが、食べてもおなかを壊すことはありませんでした。チャイというお茶を頻繁に飲む習慣がありますが、飲みすぎるとおなか緩むので注意してください。

チャナッカレは田舎ですが景色が綺麗なのでとてもおすすめです。

留学を通しての感想

海外経験はほとんどなくて、トルコ語も少ししか知らないのに留学してしまったので、最初の空港から現地にたどり着くまでが非常に怖かったです。ですがそこでも何とか乗り越えられたので、その後の留學生活は何とかやっていけるだろうと自分に言い聞かせながら必死に頑張ってきました。スーパーに行ったり学校に行ったりするだけでとても緊張しましたが、その分毎日寝るころには今日も一日頑張ったな、と実感するほど刺激たっぷりの毎日を送ることができました。また、ルームメイトの人とは全くの初対面からのスタートだったので、最初は目が合うだけで緊張していたのですが、自分を出せば出すほどとてもいい関係になりました。これからというときにコロナウイルスによって中断してしまったので、早く留學再開できればと願うばかりです。